

特定非営利活動法人日本都市計画家協会

北海道支部 2010 年度総会 議事概要

日 時 2010 年 5 月 24 日 (月)
18 時 00 分～19 時 45 分
会 場 北海道立道民活動センター
(かでる 2.7) 5 階 540 会議室

1) 支部長挨拶

(小林支部長)

- ・昨年度は自身の体調の関係もあり、活動が滞りがちであった。今年度は活発な活動を期待します

○新幹事の紹介

(小川泰子氏)

- ・道都市計画課の景観担当です。視野を広げたいと思いますのでよろしくお願いします

2) 2009 年度事業報告

(資料 2 参照)

3) 2010 年度事業計画

(資料 3-1 について)

- ・事業計画で挙げられている取組について、当初に担当者を決める必要がある
- ・建築・都市計画・地域・社会学・福祉などの学会と共催しながら行くと、活動が広がるのでは
- ・活動を「見える化」するための、アクションプランを考える必要がある
- ・勉強熱心な道職員の方々の勉強会的なものも企画するといいいのでは。道外から事例紹介や話題提供をしてもらい、現場で動いている人、行政、基礎自治体の人活発な議論をする場を設けるといいのでは
- ・本部の TOWNS (都計審ウォッチネット研究会) で都市計画審議会の運営について議論されているが、北海道は本部とは違う考え方で議論しなければならないということもある
- ・家協会北海道支部としては、①まちづくりの裾野を広げる活動、②都市計画制度の研究、③新しい法制度 (抜本的改正) に向けて、まちづくりの地域差をどう考えるのか、という内容の活動をする必要があるだろう

- ・社会にメッセージを出すことも役割として意識しなければならない
- ・(2)学生・若手まちづくり講座は、キーワードとして挙げたものが、昨年旧小林研究室で研究していたテーマなので、小林氏担当
- ・(3)多分野人材交流会については、年4回シリーズの“カレッジ”として開催すると良いのでは
- ・各回テーマによって、関係団体と共催して行うと良いのでは
- ・各回ごとを1章として、最後に1冊にまとめて、家協会北海道支部としてメッセージを出すこともできるのでは
- ・(3)多分野人材交流会の各回担当者は各人と調整し後日決定する
(資料3-2について)
- ・支部の全まち企画については、山重担当で資料のように進める。今後詳細を適宜ご相談・ご連絡する

4) 2010年度本部理事候補および支部体制について

- ・今年度理事候補として、北海道支部からは下記の4名が立候補した
理事候補：小林英嗣・田村亨・後藤孝一郎・山重明
会長候補：小林英嗣

5) 第8回日本都市計画家協会賞北海道支部賞の選考

- ・総会出席者で議論をし、北海道支部賞として支部から推薦する団体を選定した。26日の本部家協会賞選定委員会にて各賞を決定

6) その他

- ・6月19日の本部総会での決定事項を受けて、支部体制についても議論が必要
- ・次回支部役員幹事会は6月25日（金）18：30～

《資料》

- 資料1 支部総会出席者名簿
- 資料2 2009年度事業報告
- 資料3-1 2010年度事業計画
- 資料3-2 「全国まちづくり会議2010in熊本」分科会企画案（北海道支部）
- 資料4 2010年度本部理事候補者名簿
- 資料5 第8回日本都市計画家協会賞北海道支部賞選考資料